

保育士家賃補助制度の導入について

日本共産党
池田 公三 議員



質問 共働き家庭子育てしやすい街ランキングで今年3位となった。1位豊島区との差は3ポイントで同区は保育職員宿舍借上支援を導入済み。本市も導入し、さらに子育てしやすい街を目指すべきでは。

市長 本市でも、保育人材確保に対応してほしいとの意見が事業者よ

り寄せられている。平成30年度から国及び都の制度を活用し、事業者が宿舍を借り上げ、保育士を採用して入居させた場合、経費を一部補助する制度を導入し本市内保育園への支援充実を図る。今定例会に予算を上程し、実施期間は32年度までを予定。

生活保護費（生活扶助費）5%削減による就学援助受給家庭への影響について

質問 生活保護基準の引き下げの影響を子どもに及ぼさないよう、就学援助支給基準の引き上げを。

教育長 基準変更の考えはない。従前から保護者負担の軽減を図っており、総体的に支給している。



女性視点の防災ブック「東京くらし防災」について

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 女性視点で発見した防災上の課題を解決する冊子であり、より多くの市民に届いてほしいが、配置先や周知方法等の対応を伺う。

市長 3月1日から都内市区町村のほか、民間事業者等の店舗事業所など約9千箇所無料で配布し、本市内でも9箇所配布中。都はホーム

ページ等で配布場所等を掲載し、防災コールセンターでも問い合わせに対応する。本市も、市内の配布場所等をホームページで広報している。

教員の働き方改革について

質問 国や都は教員が専門性の高い学習指導に専念できるよう、予算

計上してきた。これらの財源を用いた教員の働き方改革の推進は本市にとっても大変重要だが、所見を伺う。

教育長 より質の高い教育の確保及び学校に対する一層の信頼の確立という視点で考えることが必須だ。都の動向に遅滞なく、本市の実態に即した働き方改革プランを策定する。



◀「東京くらし防災」
(東京都総務局・冊子)

災害時の医療情報の収集・伝達について

公明党
堀 雄一郎 議員



質問 災害医療コーディネーターが災害時の医療連携の要となり、市は医療救護所の設置状況や医療機関の活動状況を市民へ周知を行うことになっている。医療情報収集・伝達は、重要課題と考えるので所見を伺う。

市長 災害時の医療情報の収集・伝達については、発災直後、本市と

災害拠点病院で都からの情報収集に努めるとともに、災害医療コーディネーターと連携し、医療機関等の被災状況や活動状況等の情報を共有する。市民への医療機関活動状況等の情報伝達は、防災行政無線や市ホームページ、情報メール等で発信する。

平和を育む事業の推進について

質問 本市独自の取り組みを進めているが、確認の意味で所見を伺う。

市長 平和のつどいや戦争資料展等、様々な平和事業に取り組んでいる。戦争を知らない世代に戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐことを、今後も大切にしていきたい。



◀災害時の医療救護活動に使用する
トリアージ・タグ

市内へのバリアフリーへの取り組みについて

日本共産党
奥富 喜一 議員



質問 JR東福生駅のエレベーターの設置について、福生市立地適正化計画素案では抽象的な表現はあるものの、東福生駅に関する具体的構想が感じられないが、所見を伺う。

都市建設部長 東福生駅周辺を中心とする拠点を都市機能誘導区域とし、日常生活の利便性の維持向上を

図る観点から商業・金融機能の維持誘導を行い、その機能を十分に発揮するため、駅のバリアフリー化や踏切の安全対策を行いたい。実現に向け関係機関と協議を進める。

パラシュート人員降下・物資投下訓練について

質問 市民の安全・安心を守る立場から、横田基地での訓練規模を平成23年以前のような小規模なものに戻すよう要請する考えはないか。

企画財政部長 規模について要請を行う予定はないが、基地運用の大前提である安全対策の徹底について、今後も引き続き粘り強く求めていく。



▲JR東福生駅の様子

生産緑地と都市農業振興について

公明党
原田 剛 議員



質問 生産緑地指定後30年を経過する平成34年以降、生産緑地の税優遇も期限を迎え、農地が急減して一斉に宅地転用される可能性もある。生産緑地の保全、都市農業振興について市の考えを伺う。

市長 本市として、福生市農業振興計画に定めた重点施策を推進する

とともに、生産緑地の保全や追加指定など積極的なPRを行う。

乳幼児期のスターティング・ストロングについて

質問 子育て世代包括支援センターが4月スタートする中で、全ての子どもに質の高い早期乳幼児教育・

保育の機会を与えるスターティング・ストロング（人生の始まりこそ力強く）の考え方について所見を伺う。

市長 子育て世代包括支援センター事業にスターティング・ストロングという考え方をどのように生かせるかについては、事業を進める中で実施状況に応じて対応したい。



▲市内の生産緑地の様子

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用くださいインターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信方法 本会議のライブ映像と録画映像より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆利用方法
福生市ホームページ (<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)
→「福生市議会」よりアクセス

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。